



発行 愛知県立 一宮西高等学校 同窓会

# 創立三十周年に向けて

同窓会監査 川出 孝行



同窓会々員の皆様に  
おかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

平成五年度には、我が母校も三十周年を迎えようとしております。ここに改めて私共の年を重ねました事を痛感致す次第です。思い出こそ昭和三十九年、萩原町申作の田んぼの真中に、当時一宮高等学校の分校として設立され、その後四十一年には一宮西高等学校として独立し教育施設、環境等も日増しに充実の一途をたどり、近くに住まう私は卒業以来唯々母校の発展を願いながら見守って参りました現在、その喜びの感もひとしおでございます。また、親子二代にわたり同じ学び舎に通い、同じ母校の同窓生として籍をおかれる方々も多々ある事と思いますが、私共も将来それを望むものでございます。

# 伝統の木

校長 井上 洋一



新春四月、新屋哲夫前校長の後を受けて県立平和高等学校

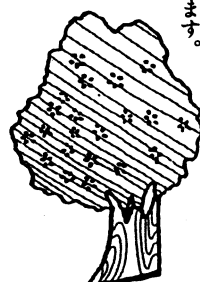
校より本校へ赴任しました。校門を入ると広ろびろとした見通しの良い前庭に、ほど良く刈り込まれた緑の樹木が立ち並び近代的な白亜の校舎がよくマッチして、落ち着いたたたずまいと、伝統校としての風格を持った雰囲気私を迎えてくれ

今春四月、新屋哲夫前校長の後を受けて県立平和高等学校校長の職に就任いたしました。右手に校歌碑を眺めながら、玄関に入り校長室の前の廊下に目を移すと、本年三月に卒業した第二十六回諸君の大学合格者の名札が壁面をはみ出さんばかりに張りめぐらされ、高い進学実績を誇っているのを心強く見つけました。今春の卒業生は愛知県が平成元年度より導入した高校新入試制度である複合選抜制度による最初の入学生諸君であります。大学入試実績は県下の多くの高校でその勢力地

図が塗り替えられようとしている昨今ではありますが、本校の健闘振りがよく示されてあります。ちなみに、昨年の国公立大学合格者三百五名に対し、今春は三百十四名の合格者を見る事ができ本校の新記録を達成しました。又名大合格者は三十六名（繰り上げ合格者を含む）を教え、県内公立高校の内十位と推定される実績であり、一宮西校健在なりとの印象を内外に示しています。これも先輩の皆さんが築き上げられた伝統を受けつぎ発展させようとして頑張った、職員・在校生の熱意に負うところ大であったと思えます。私に負わされた課題は一宮西高校という伝統の大樹を更に大きく育てるべく、

教育環境の充実と教育内容の発展を旨として尽力することであると自覚しております。幸いにも前校長は新しい時代に対応すべく、一宮西高校活性化を旨として着々と手を打ってみえました。その方針を受けつぎ、それを生かすよう、教員一同一丸となって取り組む所存であります。さて、本校は来年度平成五年十一月に創立三十周年記念行事を持つことになっており、PTA・同窓会が主体となって実行委員会が組織され、着々と準備が進められています。本校が名実共に地域の拠点校として整備発展を図る絶好のチャンスとしてこれを生かさなければならぬと思えます。同窓会諸兄弟姉妹の物心両面に亘る暖いご援助ご協力を心からお願い

するものであります。本校同窓会員数はすでに一万人を数えるまでになっており地域社会はもとより、県下・全国に有為な人材として、各方面で活躍されていることは同慶の至りであります。本校がいつまでも会員皆様の心のふる里として、健在であるよう祈念し、自重自戒して努力する所存であります。倍旧のご援助をお願いして、着任のご挨拶といたします。



さて、同窓会は昭和五十九年、山内会長を始めとするスタッフで発足致し、まだ十才を迎えたばかりの若い組織にて、全員数は一万人を越すのに対し、例年開催しております同窓会総会には、その一パーセントにも満たない出席率が現状となっております。誠に寂しい限りでございます。企画面におきましても色々告知恵を絞り（学年同窓会・部活OB会等）今迄以上、一人でも多くの御出席が願えれば幸いに存じます。なお一層の御支援、御協力を賜りたく御願い申し上げます。今後益々の西高の発展をお祈りし、御挨拶とさせていただきます。

来年は母校創立三十周年  
一宮西高校は平成五年に創立三十周年をむかえます。  
同窓会としては、創立三十周年記念事業の一環として次のような取り組みを考えています。  
○同窓会名簿の発刊  
○記念事業（校内の環境設備）の一助とするための寄付金の募集  
細目の案内は、今年秋にお手元にお届けする予定です。  
何卒ご協力をお願いいたします。